

67 キヌカツギハマシイノミ (オカミミガイ科)

兵庫県ランク:絶滅(Ex)

*Melampus sincaporensis*

環境省ランク:VU

種の概要

三河湾から九州にかけての内湾にある河口域のヨシ帯に生息する。殻長10mm程度の卵形で、外唇は肥厚しない。殻表面は茶褐色を呈し、3~6本の帯がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○	○	△	○

県内分布

赤穂市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。1975年頃に採集された千種川河口の標本記録があるのみで、その後、県内では確認されていない。兵庫県レッドリストの絶滅認定期間である40年をほぼ経過していることで、絶滅と判断する。

保護上の留意点

現状では生息が確認できないが、千種川の汽水域などには生息可能な干潟があり、今後、幼生漂着によって確認できる可能性もあるので環境維持を行う。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修